

商品名 クロルジアゼポキシド錠10mg「ツルハラ」 医薬品基本情報

薬効	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	一般名	クロルジアゼポキシド錠
英名	Chlordiazepoxide TSURUHARA	剤型	錠
薬価	10.10	規格	10mg 1錠
メーカー	鶴原製薬	毒劇区分	(向)

クロルジアゼポキシド錠10mg「ツルハラ」の効能・効果

神経症における緊張、神経症における不安、神経症における抑うつ、うつ病の(緊張、不安)、(胃潰瘍、高血圧症、十二指腸潰瘍、心身症)の(身体症候、緊張、不安、抑うつ)

クロルジアゼポキシド錠10mg「ツルハラ」の使用制限等

1. 急性閉塞隅角緑内障、重症筋無力症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心障害、脳器質的障害、重篤な呼吸不全、中等度呼吸不全、腎機能障害、肝機能障害、投与した薬剤が特定されないままにフルマゼニルを投与された	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

クロルジアゼポキシド錠10mg「ツルハラ」の副作用等

1. 薬物依存、痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想、離脱症状、刺激興奮、錯乱、呼吸抑制	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 眠気、ふらつき、眩暈、歩行失調、頭痛、多幸症、黄疸、顆粒球減少、白血球減少、血圧低下、悪心、便秘、口渴、過敏症、発疹、光線過敏症、倦怠感、脱力感、筋緊張低下症状、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 奇形を有する児、障害児、哺乳困難、嘔吐、活動低下、筋緊張低下、過緊張、嗜眠、傾眠、呼吸抑制、無呼吸、チアノーゼ、易刺激性、神経過敏、振戦、低体温、頻脈、離脱症状、新生児仮死、黄疸増強、体重減少、運動失調、作用が変化、作用が遅延	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

クロルジアゼポキシド錠10mg「ツルハラ」の相互作用

- 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

2. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

3. 薬剤名等：アルコール

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

4. 薬剤名等：飲酒

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

5. 薬剤名等：マプロチリン塩酸塩

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

6. 薬剤名等：マプロチリン塩酸塩

発現事象	痙攣発作	投与条件	併用中の本剤を急速に減量又は中止
理由・原因	本剤の抗痙攣作用により抑制されていたマプロチリン塩酸塩の痙攣誘発作用が本剤の減量・中止によりあられる	指示	注意

7. 薬剤名等：ダントロレンナトリウム水和物

発現事象	筋弛緩作用が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に筋弛緩作用を増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』